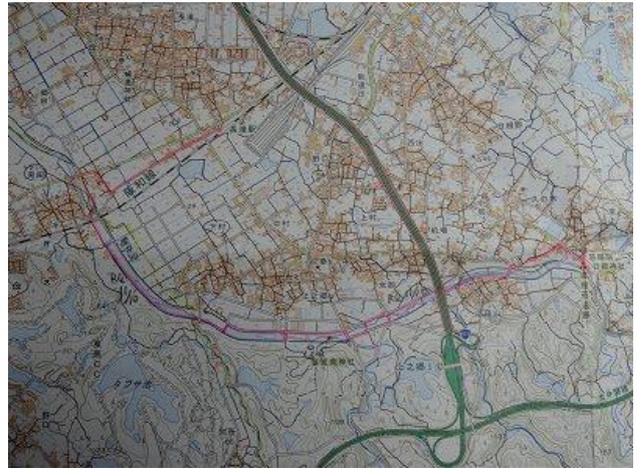


日本あちこち河川遡行記（第322回）

大阪-7.樫井川（その2）令和4年11月10日（木）快晴

今日も予想通りの快晴！樫井川遡行の続きに出かける。1年前には5千円でお釣りも有った岡山～新大阪間の「おとなび早特こだま指定席切符」が7千円を超えている。コロナのせいで客足が落ちたので値上げをしたようだ。これなら大阪から先も JR 利用の場合は「ジパング」利用の方が安くなるかもしれない。今後は比較して買わなくちゃあー。10時大阪駅東口の本屋で竹馬の友と落ち合って環状線ホームに向かう。ホームは USJ に向かう観光客で溢れかえっている。ユー達も居るぞ。桜島行きが着くとホームはすっきりとなる。やがて15分おきに走る「関空快速・紀州路快速」8両編成の電車がやって来て、後ろ4両の紀州路快速に乗る。前回は難波から南海電車利用であったが今回は阪和線利用となる。1時間の乗車で「長滝」駅に到着する。電車は一つ手前の「日野根」駅で前4両を切り離し、関空に向かい後ろ4両が和歌山を目指し、ここから各停となる。区間快速だ。お急ぎの方特急をどうぞ！と乗車券だけのお客はゆっくりといきまひよ、となる。



01.今回調査区間位置図

駅舎は阪和電鉄時代の私鉄風の建物で南海の駅と似ている。駅から西の方1kmにある川に向かって歩いていくと、おもしろいケツサクな名前の美容院の前を通る。さすが大阪人やな。それなりのご婦人も美人にしまっせ！11時35分、最初の橋「新兎田橋」に着き調査開始。土手道を上流に向かうと直ぐに4.2キロポストが立っている。この距離標は右岸側だけに在り左岸側には無い。サガンはお呼びでない。



02.阪和線「長滝」駅舎は私鉄風が残っている



03.けっさくな名前の店が現れた



04.直ぐに4.2キロポストがお出迎え

土手道の横に立派な家が建ち、その前の庭は見事に剪定された庭木が並び、塀の類が無いので良く見える。丁度真ん中に無料な電柱が立ち邪魔をしている。前後の間隔を調整してこの間を飛ばせんのかい！左岸側に移り、阪和線の鉄橋を越えて進むと踏切の警報音が聞こえてくる。快速が行ったあとなのでたぶん特急通過だと思い待っていると「くろしお」が音も無く通過して行く。



05.折角の庭を電柱が邪魔しよる



06.特急「くろしお」が樫井川橋梁を通過

土手道は日陰がなく今日は暑い。セーターを脱いで腰に巻き進む。右前方から小高い丘が近づき川には堰が続くようになる。土手道に大きな一軒家が建ち、その前の川側に多くの小さな見たことの無い花が群生している。色の組み合わせがスペイン国旗を思い起す。更に進むと民家の裏手に薄いピンク色のバラが2輪咲いている。あまり自己主張しない珍しいバラである。この薔薇なら棘も痛くないだろう。



07.ポツンと一軒家の前にスペイン国旗の色の花が沢山



08.薄ピンクのバラが咲いている

再度右岸側を進み「意賀美橋」に来ると大阪では久しぶりの親柱がある。泉佐野市の市の花「ささゆり」と市の木「イチョウ」が橋の両側にそれぞれレリーフとしてはめ込まれている。橋を渡ると丘がこちらにせり出した先っちょに神社が有る。橋名の「意賀美神社」である。石段の下のモミジの木の下で昼を撮りしばしの休憩を取る。日陰は涼しく日向との差は大きい。



09.「意賀美橋」の親柱は市の花「ささゆり」をデザイン

10.「意賀美神社」の木陰で昼を撮る

右岸に戻り進むと今や少なくなったタマネギ小屋が残っていたのでカシャ。子供の頃は阪和線に乗ると車窓の両側にタマネギ畑と小屋が続いて見えていた。今は宅地とキャベツなどの畑と田圃に変わっている。川に続く堰はこの田圃のために設置したのだろう。予定していた橋を視て川を離れバス停のある府道に向かう。途中のお墓に最近安置されたような新しい大きいお不動さんがこちらを睨んではる。墓に不動とは珍しい。府道に向かって不動に会いました。集落に入り表札をふっと見ると「目」とある。字も読みも一字の珍しいお名前である。その後の神社で見た寄付者名にも目性の人がい数人いた。尾瀬の手前に多く有る「星」さん同様、この辺りは目さんが多いのだろう。



11.今や数少ない「タマネギ小屋」をカシャ

12.広くもない墓地に大きなお不動さんが睨んでいる

やがて「日根神社」の参道に来ると乗車予定の南海バスが通過する時刻となる。次は1時間後であるが、どうするか相談すると急ぐ旅でもないので神社境内でゆっくりすることにして参道を歩いて行く。やがて件のバスが通過して行く。駅名にもなった日根神社は府社と格式が高く、境内には多くの祠が並んでいる。門の奥には立派な社殿が建ち、その手間の左右にベンチが有ったので日陰の方のベンチで大休止を取る。思い出話などをしていると直ぐに次のバスの通過時刻が迫り急いでバス停に向かう。



13.「日根神社」に到着



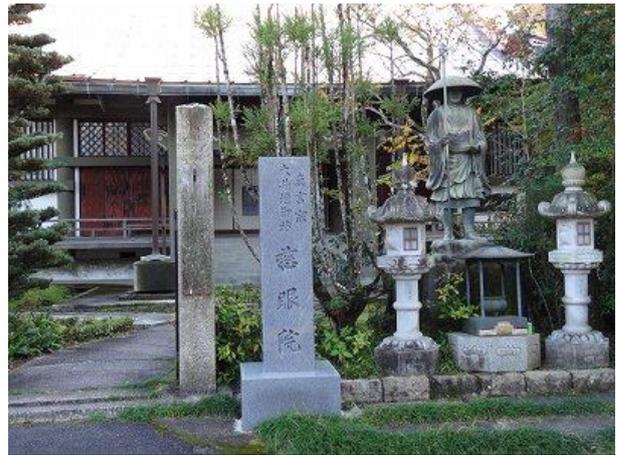
14.多くの祠が並んでいる

「東上」バス停に向かうと神社の直ぐ横に「慈眼院」が有り、お大師像が立っている。真言宗のお寺のようである。帰宅後調べると、御室派の寺院で多宝塔は国宝に指定され、隣の「日根神社」の「神宮寺」であった。急いでバスに向かったので通過してしまっただが後日訪れてみたいものである。バス停の向かい側のお屋敷の立派な塀の前に道路沿いにこれまた立派な岩が並んでいる。先ほどは庭木で今度は名岩である。直ぐにバスがやって来て乗車。この石もお寺と合わせて後日に見ることにして発車。



15.府社だけあって立派な社殿が有る

16.神社の横に真言宗「慈眼院」があった



17.「東上」バス停の前のお屋敷には名石がズラリと

「犬鳴山」からやって来たバスは今回は路線バスなので210円払って日野根駅で降り駅の階段を上る。直ぐに和歌山からの4両が着き、ホームの前に進むと今度は関空からの4両も着きドッキング。16時20分に大阪駅に着き駅の北側の地下のビアホール（風）の店で軽くやる。未だ日が高いので夕食は家でとることにして久しぶりに「イカリ」に向かう。

岡山駅構内には東京の某高級食品スーパーがあり何度も立ち寄っているが、やっぱり大阪のこっちの方がイカリを下せるわ。こっちの方が品ぞろえが関西人にぴったりでんねん。



本日の歩行距離：5.6km。調査した橋の数：14.
総歩行距離：11,203.2km。総調査橋数：14,625.
使用した1/25,000地形図：「樽井」（和歌山10号-4）

